

《研究ノート》

奄美諸島と八重山諸島における  
地域住民の生活と福祉ニーズ

—奄美諸島と八重山諸島における一般成人調査より紐解く— (2)

田中 安平・小窪 輝吉・岩崎 房子  
田畑 洋一・高山 忠雄・玉木 千賀子

# 奄美諸島と八重山諸島における 地域住民の生活と福祉ニーズ<sup>1)</sup>

—奄美諸島と八重山諸島における一般成人調査より紐解く— (2)

田中 安平・小窪 輝吉・岩崎 房子  
田畑 洋一・高山 忠雄・玉木 千賀子<sup>2)</sup>

和文抄録：本研究は、奄美諸島と八重山諸島における、地域住民の生活と福祉ニーズを一般成人調査より紐解こうとするものである。調査対象地として、島嶼都市部からは奄美市と石垣市を、島嶼集落部としては瀬戸内町の加計呂麻島、請島、与路島と、竹富町からは西表島、鳩間島を選出した。両諸島とも相互扶助としての「結い」の精神の色濃く残る集落群であるが、鹿児島県と沖縄県の諸島では、集落の有り様に差異があることが明らかになった。

本稿では食生活、保健・医療福祉サービス、地域の課題等についての分析結果を示す。飲酒に関しては、「毎日飲む」と答えた人は、都市部より、集落部において高かった。「生活習慣病に関する催しへの参加」では、「参加したことが無い」と回答した人は、都市部の方が高かった。地域で感じている問題点については、奄美市と瀬戸内町では「ハブ」の問題、集落部である瀬戸内町と竹富町では日常の買い物の不便があがっていた。総じて、集落部における地域問題の指摘が多かった。国や自治体に望む重点施策について、4地区とも「在宅介護のための、自宅を訪問するサービスの充実」を第1位にあげていた。

キーワード：地域リハビリテーション 伝統的文化 島嶼地域 地域の問題

本稿は、本誌前号（第32巻第4号）に掲載された「奄美諸島と八重山諸島における地域住民の生活と福祉ニーズ—奄美諸島と八重山諸島における一般成人調査より紐解く—(1)」の後編である。アンケート調査の集計結果をもとに、食生活、飲酒・喫煙、保健医療受診、福祉サービス、地域の問題と要望を中心に報告する。

## 9. 食生活

### 1) 食事の回数

「あなたは1日に何回食事をしますか」と質問した結果を表20に示す。

全体では、「3回」が85.3%と最も高く、次いで「2回」が13.4%、「1回」と「4回」がともに0.6%の順であった。

対象地別では、竹富町において若干ではあるが他の地域よりも「2回」の割合が高く、「3回」の割合が低かった。なお、カイ二乗検定では、地域と食事回数との間に有意な関連性はみられなかった( $\chi^2=8.304$ ,  $df=9$ ,  $n.s.$ )。

表20 食事の回数

	1回	2回	3回	4回	合計
奄美市	0.7% (1)	12.3% (17)	86.2% (119)	0.7% (1)	100.0% (136)
瀬戸内町	0.9% (1)	11.1% (13)	88.0% (103)	0.0% (0)	100.0% (117)
石垣市	0.0% (0)	11.5% (11)	88.5% (85)	0.0% (0)	100.0% (96)
竹富町	0.8% (1)	18.6% (22)	78.8% (93)	1.7% (2)	100.0% (118)
合計	0.6% (3)	13.4% (63)	85.3% (400)	0.6% (3)	100.0% (469)

## 2) 食事で気になること

「あなたは、日頃の食事について気になることがありますか」と複数回答で質問した結果を表21に示す。

全体では、「栄養のバランスが取れていない」が33.0%と最も高く、次いで「食べ過ぎることが多い」が32.2%、「特に気になることはない」が29.4%と上位を占めた。

対象地別でみると、奄美市は、塩辛いもの・できあいのお惣菜・インスタント食品・菓子パンやお菓子・外食や店屋ものなどが多く、栄養のバランスが取れていないという回答が多かった。瀬戸内町は、塩辛いもの・冷凍食品が多く、食べ過ぎるといって一方で、食べるよりビールや酒類を飲むことが多いなど、他の地域に比べ、食べる量が少ないという回答が多かった。石垣市では、外食や店屋ものが多い、食べ過ぎることが多いといって一方で、塩辛いものやインスタント食品の摂取が少なく、他の地域より栄養のバランスは取れているという回答が多かった。竹富町では、塩辛いものやできあいのお惣菜の摂取は少ないものの、食べるよりビールや酒類を飲むこと、冷凍食品が多く、栄養のバランスが取れていないという回答が多かった。

また、「食べる量が少ない」「食べるよりビールや酒類を飲むことが多い」「冷凍食品が多い」という回答に関しては、気象状況に左右される交通事情や地理的な事情などから生鮮食料品の入手が比較的難しい島嶼集落部に高い傾向がみられ、「外食や店屋ものが多い」という回答に関しては、外食産業や飲食店が多い島嶼都市部に高い傾向がみられた。「塩辛いものが多い」という回答に関しては、奄美諸島のほうが八重山諸島に比べ高かった。

表21 食事で気になること（複数回答）

	奄美市	瀬戸内町	石垣市	竹富町	合計
1.食事不規則である	25.4% (35)	25.9% (30)	③25.5% (25)	③26.5% (31)	25.8% (121)
2.食べ過ぎることが多い	③28.3% (39)	③30.2% (35)	①40.8% (40)	②31.6% (37)	②32.2% (151)
3.食べる量が少ない	3.6% (5)	10.3% (12)	3.1% (3)	7.7% (9)	6.2% (29)
4.食べるよりビールや酒類を飲むことが多い	14.5% (20)	18.1% (21)	8.2% (8)	17.1% (20)	14.7% (69)
5.栄養のバランスが取れていない	①35.5% (49)	②31.9% (37)	③25.5% (25)	①37.6% (44)	①33.0% (155)
6.塩辛いものが多い	12.3% (17)	13.8% (16)	6.1% (6)	6.8% (8)	10.0% (47)
7.できあいのお惣菜が多い	15.2% (21)	6.0% (7)	7.1% (7)	2.6% (3)	8.1% (38)
8.インスタント食品が多い	15.2% (21)	12.9% (15)	3.1% (3)	12.8% (15)	11.5% (54)
9.冷凍食品が多い	5.8% (8)	12.9% (15)	3.1% (3)	9.4% (11)	7.9% (37)
10.菓子パン、菓子類が多い	22.5% (31)	5.2% (6)	14.3% (14)	12.8% (15)	14.1% (66)
11.外食や店屋ものが多い	10.1% (14)	3.4% (4)	7.1% (7)	4.3% (5)	6.4% (30)
12.その他	0.7% (1)	2.6% (3)	3.1% (3)	6.0% (7)	3.0% (14)
13.特に気になることはない	②30.4% (42)	①32.8% (38)	②30.6% (30)	23.9% (28)	③29.4% (138)
回答者数	138	116	98	117	469

なお、「その他」の内訳は、瀬戸内町では、「野菜が不足気味である」。石垣市では、「揚げ物が多い」。竹富町では、「食事もしっかり食べるがお酒も多い」「野菜不足」「僻地のため食材が手に入りにくくなる時がある」などの記述がみられた。

## 10. 飲酒・喫煙

### 1) 飲酒について

「あなたは、お酒を飲みますか」と質問した結果を表22に示す。

全体では、「あまり飲まない」が37.3%と最も高く、次いで「ときどき飲む」が33.3%、「ほぼ毎日飲む」が29.4%の順であった。

対象地別でみると、奄美市と石垣市では「あまり飲まない」、瀬戸内町では「ほぼ毎日飲む」、竹富町では、「ときどき飲む」傾向が高く、島嶼集落部に飲酒が習慣化している傾向がみられた。なお、カイ二乗検定では、地域と飲酒の頻度との間に有意な関連性はみられなかった ( $\chi^2=11.862, df=6, n.s.$ )。

表22 飲酒について

	ほぼ毎日飲む	ときどき飲む	あまり飲まない	合計
奄美市	27.2% (37)	33.8% (46)	39.0% (53)	100.0% (136)
瀬戸内町	35.9% (42)	25.6% (30)	38.5% (45)	100.0% (117)
石垣市	21.9% (21)	33.3% (32)	44.8% (43)	100.0% (96)
竹富町	31.6% (37)	40.2% (47)	28.2% (33)	100.0% (117)
合計	29.4% (137)	33.3% (155)	37.3% (174)	100.0% (466)

上記の質問の回答のうち、「ほぼ毎日飲む」と「ときどき飲む」と答えた人に、「ふだん、何を飲みますか」と複数回答で質問した結果を表23に示す。

全体では、「ビール」が79.9%と圧倒的に高く、次いで「焼酎」が44.0%、「その他」が12.4%の順であった。

対象地別では、竹富町において「ワイン」の割合が高かった。なお、「その他」の内訳は、奄美諸島では、「酎ハイ」、八重山諸島では「泡盛」の記述が多数みられた。

表23 ふだん飲むお酒の種類 (複数回答)

	奄美市	瀬戸内町	石垣市	竹富町	合計
焼酎	②53.1% (43)	②64.9% (50)	③16.4% (9)	②34.1% (29)	②44.0% (131)
日本酒	3.7% (3)	③ 5.2% (4)	3.6% (2)	9.4% (8)	5.7% (17)
ビール	①75.3% (61)	①80.5% (62)	①81.8% (45)	①82.4% (70)	①79.9% (238)
ウイスキー	6.2% (5)	1.3% (1)	0.0% (0)	7.1% (6)	4.0% (12)
ワイン	11.1% (9)	3.9% (3)	7.3% (4)	③22.4% (19)	11.7% (35)
その他	③12.3% (10)	2.6% (2)	②18.2% (10)	17.6% (15)	③12.4% (37)
回答者数	81	77	55	85	298

さらに、「ほぼ毎日飲む」と「ときどき飲む」と答えた人に、「1日にどのくらいの量を飲みますか」と質問した結果を表24に示す。

全体では、「1～2合」が37.2%と最も高く、次いで「1合」が24.5%、「2～3合」が20.4%の順であった。

対象地別でみると、奄美市、瀬戸内町、石垣市では「1～2合」の割合が高く、竹富町は「3～4合」の割合が高かった。カイ二乗検定においても、地域と1日の飲酒の量との間に有意な関連性はみられなかった ( $\chi^2=9.160, df=15, n.s.$ )。

表24 1日に飲むお酒の量

	奄美市	瀬戸内町	石垣市	竹富町	合計
1. 1合 (180cc)	25.3% (19)	24.6% (16)	23.5% (12)	24.4% (19)	24.5% (66)
2. 1～2合 (360cc)	38.7% (29)	40.0% (26)	39.2% (20)	32.1% (25)	37.2% (100)
3. 2～3合 (540cc)	18.7% (14)	21.5% (14)	21.6% (11)	20.5% (16)	20.4% (55)
4. 3～4合 (720cc)	5.3% (4)	1.5% (1)	7.8% (4)	10.3% (8)	6.3% (17)
5. 4～5合 (900cc)	8.0% (6)	9.2% (6)	2.0% (1)	6.4% (5)	6.7% (18)
6. 5合以上 (900cc以上)	4.0% (3)	3.1% (2)	5.9% (3)	6.4% (5)	4.8% (13)
合計	100.0% (75)	100.0% (65)	100.0% (51)	100.0% (78)	100.0% (269)

同じく、「ほぼ毎日飲む」と「ときどき飲む」と答えた人に、「1日に飲む量についてどう思いますか」と質問した結果を表25に示す。

全体では、「適量だと思う」が70.6%と圧倒的に高く、次いで「多いと思う」が23.4%、「少ないと思う」が8.7%の順であった。

対象地別では、石垣市は「多いと思う」割合が高く、奄美市は「少ないと思う」割合が高かった。なお、カイ二乗検定では、地域と1日に飲む量との間に有意な関連性はみられなかった ( $\chi^2=4.346$ ,  $df=6$ , n.s.)。

表25 1回に飲む量について

	多いと思う	自分としては適量だと思う	少ないと思う	合計
奄美市	17.6% (15)	70.6% (60)	11.8% (10)	100.0% (85)
瀬戸内町	24.3% (18)	68.9% (51)	6.8% (5)	100.0% (74)
石垣市	30.9% (17)	61.8% (34)	7.3% (4)	100.0% (55)
竹富町	23.5% (20)	68.2% (58)	8.2% (7)	100.0% (85)
合計	23.4% (70)	67.9% (203)	8.7% (26)	100.0% (299)

## 2) 喫煙について

「あなたはタバコを吸いますか」と質問した結果を表26に示す。

全体では、「以前から吸わない」が55.2%と最も高く、次いで「吸う」が24.0%、「今はやめた」が20.8%の順であった。

カイ二乗検定の結果、地域と喫煙状況との間には有意な関連性がみられ ( $\chi^2=20.944$ ,  $df=6$ ,  $p<.01$ )、奄美市と石垣市では「以前から吸わない」傾向が高く、瀬戸内町では「吸う」(喫煙者)が多く、竹富町では「今はやめた」(以前は吸っていたが禁煙した者)が多いといえる。

表26 タバコについて

	吸う	今はやめた	以前から吸わない	合計
奄美市	25.0% (34)	12.5% (17)	62.5% (85)	100.0% (136)
瀬戸内町	29.6% (34)	16.5% (19)	53.9% (62)	100.0% (115)
石垣市	18.6% (18)	22.7% (22)	58.8% (57)	100.0% (97)
竹富町	22.0% (26)	33.2% (39)	44.9% (53)	100.0% (118)
合計	24.0% (112)	20.8% (97)	55.2% (257)	100.0% (466)

上記の質問の回答のうち、「吸う」と答えた人に、「平均すると1日に何本のタバコを吸っていますか」と質問した結果を表27に示す。

全体では、「20～29本」が38.7%と最も高く、次いで「10～19本」が30.6%、「10本未満」が10.9%の順であった。

対象地別では、奄美市と石垣市は「10～19本」が、瀬戸内町と竹富町では「20～29本」が最も高く、島嶼集落部のほうが島嶼都市部に比べ喫煙本数が多い傾向がみられた。

表27 1日のタバコの本数 (平均)

	奄美市	瀬戸内町	石垣市	竹富町	合計
1. 10本未満	5.9% (2)	8.8% (3)	16.7% (3)	16.0% (4)	10.9% (12)
2. 10～19本	35.3% (12)	26.5% (9)	38.9% (7)	24.0% (6)	30.6% (34)
3. 20～29本	29.4% (10)	52.9% (18)	33.3% (6)	36.0% (9)	38.7% (43)
4. 30～39本	17.6% (6)	2.9% (1)	5.6% (1)	4.0% (1)	8.1% (9)
5. 40～49本	11.8% (4)	5.9% (2)	5.6% (1)	12.3% (3)	9.0% (10)
6. 50本以上	0.0% (0)	2.9% (1)	0.0% (0)	8.0% (2)	2.7% (3)
合計	100.0% (34)	100.0% (34)	100.0% (18)	100.0% (25)	100.0% (111)

同じく、「吸う」と答えた人に、「タバコを吸い始めて何年になりますか」と質問した結果を表28に示す。

全体では、「20年以上30年未満」が28.7%と最も高く、次いで「30年以上40年未満」が26.9%、「10年以上20年未満」が18.5%の順であった。

対象地別では、奄美市は「30年以上40年未満」が、瀬戸内町は「30年以上40年以上」および「40年以上」が、石垣市と竹富町は「20年以上30年未満」が高く、奄美諸島のほうが八重山諸島より喫煙歴が長い傾向がみられた。

表28 喫煙歴

	奄美市	瀬戸内町	石垣市	竹富町	合計
1. 5年未満	0.0% (0)	3.2% (1)	5.6% (1)	4.0% (1)	27.8% (3)
2. 5年以上10年未満	5.9% (2)	6.5% (2)	16.7% (3)	12.0% (3)	9.3% (10)
3. 10年以上20年未満	26.5% (9)	6.5% (2)	16.7% (3)	24.0% (6)	18.5% (20)
4. 20年以上30年未満	26.5% (9)	25.8% (8)	27.8% (5)	36.0% (9)	28.7% (31)
5. 30年以上40年未満	29.4% (10)	29.0% (9)	22.2% (4)	24.0% (6)	26.9% (29)
6. 40年以上	11.8% (4)	29.0% (9)	11.1% (2)	0.0% (0)	13.9% (15)
合計	100.0% (34)	100.0% (31)	100.0% (18)	100.0% (25)	100.0% (108)

さらに、「吸う」と答えた人に、「あなたの喫煙に関する考え方について、当てはまるものすべてに○をつけてください」と複数回答で質問をした結果を表29に示す。

全体では、「やめたいと思うがやめられない」が54.9%と最も高く、次いで「タバコをやめたいと思っている」が43.4%、「タバコの本数を減らしたい」が38.9%の順であった。

対象地別では、「タバコをやめたいと思っている」という回答は瀬戸内町が50.0%と最も高かった。「タバコの本数を減らしたい」という回答は石垣市が44.4%と最も高かったが、「やめる必要はないと思う」の回答が16.7%と、他の地域より高い割合がみられた。なお、禁煙に否定的な「タバコはやめる必要はないと思う」「禁煙を勧められると気分を害する」「タバコは絶対にやめない」を合わせた割合をみると、奄美市が26.5%（9人）、石垣市が22.2%（4人）、瀬戸内町が20.9%（7人）、竹富町が18.5%（5人）の順で、島嶼都市部のほうが島嶼集落部よりも高い傾向がみられた。

表29 喫煙に対する考え方（複数回答）

	奄美市	瀬戸内町	石垣市	竹富町	合計
1. タバコをやめたいと思っている	②44.1% (15)	②50.0% (17)	③38.9% (7)	②37.0% (10)	②43.4% (49)
2. やめたいと思うがやめられない	①55.9% (19)	①52.9% (18)	①61.1% (11)	①51.9% (14)	①54.9% (62)
3. タバコの本数を減らしたい	③41.2% (14)	③41.2% (14)	②44.4% (8)	③29.6% (8)	③38.9% (44)
4. 禁煙プログラムがあれば参加したい	11.8% (4)	11.8% (4)	16.7% (3)	11.1% (3)	12.4% (14)
5. タバコはやめる必要はないと思う	8.8% (3)	11.8% (4)	16.7% (3)	7.4% (2)	10.6% (12)
6. 禁煙を勧められると気分を害する	11.8% (4)	2.9% (1)	5.6% (1)	7.4% (2)	7.1% (8)
7. タバコは絶対にやめない	5.9% (2)	5.9% (2)	0.0% (0)	3.7% (1)	4.4% (5)
8. その他	5.9% (2)	5.9% (2)	0.0% (0)	11.1% (3)	6.2% (7)
回答者数	34	34	18	27	113

## 11. 保健医療受診

### 1) 歯科受診状況

「定期的に歯科受診を受けていますか」と質問した結果を表30に示す。

全体では、「ときどき」が39.1%と最も高く、次いで「全く行ったことがない」が29.2%、「受けている」が25.8%の順であった。

カイ二乗検定をする際、期待度数が5未満のセルを解消するために「全く行ったことがない」と「その他」を合計した。その結果、調査対象地と定期的な歯科受診状況の間に有意な関連性がみられた ( $\chi^2=13.438$ ,  $df=6$ ,

p<.05)。奄美市では「全く受診したことがない」、瀬戸内町と竹富町では「ときどき受診」している、石垣市では「定期的に受診」しているといえる。

表30 定期的に歯科受診を受けているか

	はい	ときどき	全く行ったことがない	その他	合計
奄美市	21.7% (30)	36.2% (50)	34.1% (47)	8.0% (11)	100.0% (138)
瀬戸内町	20.2% (23)	43.9% (50)	29.8% (34)	6.1% (7)	100.0% (114)
石垣市	38.1% (37)	34.0% (33)	24.7% (24)	3.1% (3)	100.0% (97)
竹富町	25.6% (30)	41.9% (49)	26.5% (31)	6.0% (7)	100.0% (117)
合計	25.8% (120)	39.1% (182)	29.2% (136)	6.0% (28)	100.0% (466)

## 2) 健康診断受診状況

「定期的に健康診断を受けていますか」と質問した結果を表31に示す。

全体では、「受けている」が68.5%と最も高く、次いで「ときどき」が15.6%、「全く行ったことがない」が14.0%、「その他」1.9%の順であった。

対象地別では、「受診している」は奄美市と石垣市に高く、「ときどき」は瀬戸内町に高く、「全く行ったことがない」は竹富町に高い傾向がみられ、医療提供体制が整備されている島嶼都市部のほうが島嶼集落部に比べ定期的に受診している傾向がみられた。なお、カイ二乗検定では、地域と健康診断受診状況との間に有意な関連性はみられなかった ( $\chi^2=5.833$ ,  $df=9$ , n.s.)。

表31 定期的に健康診断を受けているか

	はい	ときどき	全く行ったことがない	その他	合計
奄美市	69.8% (97)	13.7% (19)	15.1% (21)	1.4% (2)	100.0% (139)
瀬戸内町	63.8% (74)	19.0% (22)	13.8% (16)	3.4% (4)	100.0% (116)
石垣市	73.5% (72)	14.3% (14)	10.2% (10)	2.0% (2)	100.0% (98)
竹富町	67.5% (81)	15.8% (19)	15.8% (19)	0.8% (1)	100.0% (120)
合計	68.5% (324)	15.6% (74)	14.0% (66)	1.9% (9)	100.0% (473)

## 3) 健康教育への参加状況

「地域や職場で、健康や栄養に関する催しに参加していますか」と質問した結果を表32に示す。

全体では、「参加したことがない」が49.5%と最も高く、次いで「参加したことがある」が32.8%、「参加している」が16.7%、「その他」1.1%の順であった。

カイ二乗検定をする際、期待度数が5未満のセルを解消するために「参加したことがない」と「その他」を合計した。その結果、調査対象地と健康や栄養に関する健康教育への参加状況の間に有意な関連性がみられた ( $\chi^2=13.630$ ,  $df=6$ ,  $p<.05$ )。奄美市と瀬戸内町では「参加したことがない」、石垣市と竹富町では「参加したことがある」傾向が高かった。奄美諸島に比べ八重山諸島のほうが、健康や栄養に関する健康教育への参加状況が高いといえる。

表32 地域や職場で、健康や栄養に関する催しに参加しているか

	参加している	参加したことがある	参加したことがない	その他	合計
奄美市	18.2% (25)	22.6% (31)	58.4% (80)	0.7% (1)	100.0% (137)
瀬戸内町	15.7% (18)	33.0% (38)	48.7% (56)	2.6% (3)	100.0% (115)
石垣市	11.5% (11)	41.7% (40)	46.9% (45)	0.0% (0)	100.0% (96)
竹富町	20.2% (24)	37.0% (44)	42.0% (50)	0.8% (1)	100.0% (119)
合計	16.7% (78)	32.8% (153)	49.5% (231)	1.1% (5)	100.0% (467)

次に、「地域や職場において、生活習慣病に関する催しに参加していますか」と質問した結果を表33に示す。全体では、「参加したことがない」が58.6%と最も高く、次いで「参加したことがある」が28.8%、「参加している」が11.4%、「その他」が1.3%の順であった。

対象地別では、奄美市は「参加したことがない」、瀬戸内町と石垣市は「参加したことがある」、竹富町は「参加している」傾向がみられた。なお、カイ二乗検定では、地域と生活習慣病に関する健康教育への参加状況との間に有意な関連性はみられなかった ( $\chi^2=15.474, df=9, n.s.$ )。

表33 地域や職場で、生活習慣病に関する催しに参加しているか

	参加している	参加したことがある	参加したことがない	その他	合計
奄美市	9.5% (13)	22.6% (31)	67.9% (93)	0.0% (0)	100.0% (137)
瀬戸内町	9.6% (11)	33.0% (38)	54.8% (63)	2.6% (3)	100.0% (115)
石垣市	10.3% (10)	33.0% (32)	56.7% (55)	0.0% (0)	100.0% (97)
竹富町	16.2% (19)	28.2% (33)	53.0% (62)	2.6% (3)	100.0% (117)
合計	11.4% (53)	28.8% (134)	58.6% (273)	1.3% (6)	100.0% (466)

## 12. 福祉サービス

### 1) 親に関する状況

#### ①親に対して望む介護形態（要支援・要介護1～2の状態のとき）

「仮に、親が日常生活のうち、いくらかを他者の世話（要支援・要介護1～2の状態）を必要とする状態になったとき、あなたはどのような介護形態を望むか」質問した結果を表34に示す。

「家族介護のみで対応したい」という意見は瀬戸内町と石垣市で高く、竹富町と奄美市で低くなっている。「介護施設入所希望」では、八重山諸島の方が奄美諸島よりも高くなっている。

表34 親に対して望む介護形態（要支援・要介護1～2）

	対応できるうちは 家族介護のみ	家族介護を中心に 介護サービスを利用	介護サービスを中心に 家族介護を付け足す	介護施設入所（ケア ハウス、有料ホーム等）	その他	合計
奄美市	12.3% (14)	50.0% (57)	28.1% (32)	8.8% (10)	0.9% (1)	100% (114)
瀬戸内町	28.8% (23)	40.0% (32)	22.5% (18)	7.5% (6)	1.3% (1)	100% (80)
石垣市	28.0% (23)	41.5% (34)	18.3% (15)	11.0% (9)	1.2% (1)	100% (82)
竹富町	19.4% (18)	45.2% (42)	21.5% (20)	12.9% (12)	1.1% (1)	100% (93)
合計	21.1% (78)	44.7% (165)	23.0% (85)	10.0% (37)	1.1% (4)	100% (369)

#### ②親に対して望む介護形態（要介護3～5の状態のとき）

「仮に、親が寝たきりや認知症になり、日常生活の大部分を他者の世話（要介護3～5の状態）を必要とする状態になったとき、あなたはどのような介護形態を望むか」質問した結果を表35に示す。

「家族介護のみ」で対応したいという意見では、奄美市が他の3地域に関して圧倒的に低くなっている。「介護施設入所の希望」に関しては、奄美諸島・八重山諸島両者において、島嶼都市部の方が島嶼集落部よりも高くなっている。

表35 親に対して望む介護形態（要介護3～5）

	対応できるうちは 家族介護のみ	家族介護を中心 に介護サービス を利用	介護サービスを 中心に家族介護 を付け足す	介護施設入所 (特別養護老人 ホーム等)	その他	合計
奄美市	2.5% (3)	30.5% (36)	33.9% (40)	33.1% (39)	0.0% (0)	100% (118)
瀬戸内町	10.5% (9)	25.6% (22)	33.7% (29)	27.9% (24)	2.3% (2)	100% (86)
石垣市	12.8% (11)	29.1% (25)	26.7% (23)	30.2% (26)	1.2% (1)	100% (86)
竹富町	11.1% (11)	25.3% (25)	38.4% (38)	25.3% (25)	0.0% (0)	100% (99)
合計	8.7% (34)	27.8% (108)	33.4% (130)	29.3% (114)	0.8% (3)	100% (389)



③現在親の利用している在宅福祉サービス

あなたの親は、次の「在宅サービス」を利用しているかどうか質問した。結果は表36のようになる。瀬戸内町においては、4種すべてのサービス利用において1位である。特に訪問看護においては竹富町の3.7倍、石垣市の3.1倍、奄美市の3.2倍で、訪問介護においては、石垣市の3倍、奄美市の2.2倍、竹富町の1.8倍の利用となっている。

4地域で1番多く利用されているのは「通所介護」で、最も利用の少ないのは「訪問看護」である。

表36 現在親の利用している在宅福祉サービス

		利用している	利用していない	利用しているかしていないか分からない	合計
訪問介護	奄美市	6.1% (6)	92.9% (92)	1.0% (1)	100% (99)
	瀬戸内町	13.7% (10)	82.2% (60)	4.1% (3)	100% (73)
	石垣市	4.5% (3)	93.9% (62)	1.5% (1)	100% (66)
	竹富町	7.7% (6)	91.0% (71)	1.3% (1)	100% (78)
訪問看護	奄美市	3.0% (3)	96.0% (95)	1.0% (1)	100% (99)
	瀬戸内町	9.7% (7)	86.1% (62)	4.2% (3)	100% (72)
	石垣市	3.1% (2)	95.4% (62)	1.5% (1)	100% (65)
	竹富町	2.6% (2)	96.1% (73)	1.3% (1)	100% (76)
通所介護	奄美市	12.7% (13)	86.3% (88)	1.0% (1)	100% (102)
	瀬戸内町	16.4% (12)	79.5% (58)	4.1% (3)	100% (73)
	石垣市	10.4% (7)	88.1% (59)	1.5% (1)	100% (67)
	竹富町	6.4% (5)	91.0% (71)	2.6% (2)	100% (78)
通所リハ	奄美市	7.9% (8)	89.1% (90)	3.0% (3)	100% (101)
	瀬戸内町	12.1% (8)	83.3% (55)	4.5% (3)	100% (66)
	石垣市	10.6% (7)	89.4% (59)	0.0% (0)	100% (66)
	竹富町	9.5% (7)	90.5% (67)	0.0% (0)	100% (74)

④親の利用している在宅福祉サービスの満足度

親が在宅サービスを利用していると答えた人に「利用の満足度」を質問した。結果を表37に示す。「満足している」と積極的に答えた人は島嶼集落部において、島嶼都市部より2倍以上高くなっている。一方で、「不満である」と積極的に答えた人は、竹富町で高く、奄美市でも高くなっている。全体的な満足度「満足している+まあ満足している」でいえば、奄美市で85.0%と1番高く、竹富町で75.1%と1番低くなっている。

表37 在宅福祉サービスの満足度

	満足している	まあ満足している	やや不満である	不満である	合計
奄美市	20.0% (4)	65.0% (13)	5.0% (1)	10.0% (2)	100% (20)
瀬戸内町	47.8% (11)	34.8% (8)	13.0% (3)	4.3% (1)	100% (23)
石垣市	16.7% (2)	66.7% (8)	8.3% (1)	8.3% (1)	100% (12)
竹富町	43.8% (7)	31.3% (5)	12.5% (2)	12.5% (2)	100% (16)
合計	33.8% (24)	47.9% (34)	9.9% (7)	8.5% (6)	100% (71)

⑤親が現在利用している在宅福祉サービスに対する不満や問題点

「親が現在利用している在宅福祉サービスに対してどのような不満や問題点を感じているか」質問した。結果を表38に示す。「職員などの対応がよくない」が石垣市では33.3%もあり、奄美市の6倍以上、竹富町の5倍近くいる。瀬戸内町ではゼロである。「費用が高い」と回答したのも石垣市で41.7%で、竹富町の6.2倍、奄美市・瀬戸内町の1.7倍である。「移動が苦痛」では、瀬戸内町のみ25.0%で、他の地域ではゼロである。「台風などで中止になりやすい」・「サービスの種類が少ない」は、奄美諸島でそう感じているが、八重山諸島ではゼロとなっている。

表38 在宅福祉サービスに対する不満や問題点（複数回答）

	奄美市	瀬戸内町	石垣市	竹富町	合計
費用が高い	25.0% (5)	25.0% (6)	41.7% (5)	6.7% (1)	15.9% (17)
職員などの対応がよくない	5.0% (1)	0.0% (0)	33.3% (4)	6.7% (1)	5.6% (6)
施設が近くはない	20.0% (4)	20.8% (5)	16.7% (2)	33.3% (5)	15.0% (16)
施設や設備が古い	5.0% (1)	0.0% (0)	0.0% (0)	6.7% (1)	1.9% (2)
通所サービスの移動時間が長い	10.0% (2)	0.0% (0)	8.3% (1)	0.0% (0)	2.8% (3)
船や小型バスのため移動が苦痛である	0.0% (0)	25.0% (6)	0.0% (0)	0.0% (0)	5.6% (6)
台風など天候の影響で中止になりやすい	10.0% (2)	29.2% (7)	0.0% (0)	0.0% (0)	8.4% (9)
回数、日数などが少ない	20.0% (4)	4.2% (1)	16.7% (2)	6.7% (1)	7.5% (8)
サービスの質が低い	10.0% (2)	4.2% (1)	0.0% (0)	0.0% (0)	2.8% (3)
サービスの種類が少ない	5.0% (1)	8.3% (2)	0.0% (0)	0.0% (0)	2.8% (3)
プライバシーが守られていない	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)
特になし	45.0% (9)	41.7% (10)	25.0% (3)	46.7% (7)	27.1% (29)
その他	5.0% (1)	4.2% (1)	8.3% (1)	13.3% (2)	4.7% (5)
回答者数	32	39	18	18	107

## 2) 自分に関する状況

## ①自分に対して望む介護形態（要支援・要介護1～2の状態のとき）

「仮にあなたが日常生活のうち、いくらかを他者の世話（要支援・要介護1～2の状態）を必要とする状態になったとき、あなたはどのような介護形態を望むか」質問した結果を表39に示す。「対応できるうちは家族介護のみ」と回答した者は、奄美諸島が低く、八重山諸島が高くなっている。表34の親に対して望む介護形態と比較すると、自分に対する形態と次の点で異なっているのが分かる。

自分に関しては、4地域とも「介護施設入所」の比率が高くなっている。竹富町では1.8倍、奄美市では1.9倍、石垣市では2.0倍だが、瀬戸内町では3.2倍の高率である。

表39 自分に対して望む介護形態（要支援・要介護1～2）

	対応できるうちは 家族介護のみ	家族介護を中心 に介護サービス を利用	介護サービスを 中心に家族介護 を付け足す	介護施設入所 (ケアハウス、有 料ホーム等)	その他	合計
奄美市	14.4% (19)	30.3% (40)	37.1% (49)	16.7% (22)	1.5% (2)	100% (132)
瀬戸内町	17.4% (19)	29.4% (32)	25.7% (28)	23.9% (26)	3.7% (4)	100% (109)
石垣市	29.0% (27)	21.5% (20)	28.0% (26)	21.5% (20)	0.0% (0)	100% (93)
竹富町	23.5% (27)	30.4% (35)	20.0% (23)	22.6% (26)	3.5% (4)	100% (115)
合計	20.5% (92)	28.3% (127)	28.1% (126)	20.9% (94)	2.2% (10)	100% (449)

## ②世話が必要になったとき生活したい場所

「仮にあなたが日常生活の大部分を他者の世話（要介護3～5の状態）を必要とする状態になったとき、生活したい場所はどこですか」と質問した結果を表40に示す。

奄美市・瀬戸内町・竹富町において1位・2位は「介護施設入所」「自分の家」の順であるが、石垣市において順が入れ替わっている。傾向としては4地域とも同じである。

表40 世話が必要になったとき生活したい場所

	自分の家	娘の家	息子の家	介護施設入所	その他	合計
奄美市	40.0% (56)	2.1% (3)	0.7% (1)	56.4% (79)	0.7% (1)	100% (140)
瀬戸内町	42.0% (47)	0.9% (1)	1.8% (2)	52.7% (59)	2.7% (3)	100% (112)
石垣市	48.5% (47)	1.0% (1)	2.1% (2)	47.4% (46)	1.0% (1)	100% (97)
竹富町	38.5% (45)	2.6% (3)	0.0% (0)	53.4% (62)	5.2% (6)	100% (116)
合計	41.9% (195)	1.7% (8)	1.1% (5)	52.9% (246)	2.4% (11)	100% (465)

## ③自分に対して望む介護形態（要介護3～5の状態のとき）

「仮に、あなたが寝たきりや認知症になり、日常生活の大部分を他者の世話（要介護3～5の状態）を必要とする状態になったとき、あなたはどのような介護形態を望むか」質問した結果を表41に示す。「対応できるうちは家族介護のみ」と答えた割合は、奄美諸島よりも八重山諸島の方が高い。「介護施設入所」と回答した人は島嶼集落部より島嶼都市部の方が高くなっている。

表41 自分に対して望む介護形態（要介護3～5）

	対応できるうちは 家族介護のみ	家族介護を中心 に介護サービス を利用	介護サービスを 中心に家族介護 を付け足す	介護施設入所 (ケアハウス、有 料ホーム等)	その他	合計
奄美市	5.8% (8)	13.7% (19)	20.1% (28)	59.7% (83)	0.7% (1)	100% (139)
瀬戸内町	8.3% (9)	21.3% (23)	17.6% (19)	47.2% (51)	5.6% (6)	100% (108)
石垣市	10.5% (10)	20.0% (19)	14.7% (14)	53.7% (51)	1.1% (1)	100% (95)
竹富町	12.9% (15)	16.4% (19)	16.4% (19)	50.9% (59)	3.4% (4)	100% (116)
合計	9.2% (42)	17.5% (80)	17.5% (80)	53.3% (244)	2.6% (12)	100% (458)

## 13. 地域の問題と要望

## 1) 地域の問題

地域の問題について、住んでいる地域でどのような問題を感じているか複数回答で答えてもらった。表42に結果を示す。全体で最も多いのは「働く場所がない（52.6%）」で、2番目に多いのが「急病のときの医療体制が不十分である（46.2%）」、3番目が「台風など自然災害に弱い（43.2%）」であった。仕事、医療、災害が主な地域の問題として挙げられている。

地域別にみると、奄美市で最も多いのは「働く場所が少ない（50.4%）」、瀬戸内町では「台風など自然災害に弱い（68.9%）」、石垣市では「交際にお金がかかる（51.1%）」、竹富町では「急病のときの医療体制が不十分である（81.7%）」であった。奄美市と瀬戸内町では「ハブ」の問題、石垣市や竹富町では交通機関の問題が目立った。また、離島部である瀬戸内町と竹富町では日常の買い物の不便があがっていた。総じて、離島部における地域問題の指摘が多かった。

表42 地域で感じている問題（複数回答）

	奄美市	瀬戸内町	石垣市	竹富町	合計
1. 日常の買い物に不便である	8.8% (12)	②68.1% (81)	8.5% (8)	②60.8% (73)	⑤37.0% (174)
2. 医院や病院への通院で、足の確保が困難である	5.1% (7)	51.3% (61)	4.3% (4)	45.0% (54)	26.8% (126)
3. 急病のときの医療体制が不十分である	13.1% (18)	③67.2% (80)	④22.3% (21)	①81.7% (98)	②46.2% (217)
4. 福祉のサービスが不十分である	10.9% (15)	31.1% (37)	12.8% (12)	⑤44.2% (53)	24.9% (117)
5. バスや定期船など交通機関が充実していない	13.1% (18)	43.7% (52)	⑤19.1% (18)	④45.0% (54)	30.2% (142)
6. 近隣道路が整備されていない	6.6% (9)	37.0% (44)	6.4% (6)	10.8% (13)	15.3% (72)
7. 集会施設、商店など公共的建物が高齢者には使いにくい	7.3% (10)	17.6% (21)	17.0% (16)	12.5% (15)	13.2% (62)
8. 台風など自然災害に弱い	②40.9% (56)	①68.9% (82)	18.1% (17)	40.0% (48)	③43.2% (203)
9. ハブがあるので困る	⑤21.2% (29)	④63.0% (75)	7.4% (7)	16.7% (20)	27.9% (131)
10. 一人暮らし高齢者など老後生活に不安がある	④23.4% (32)	45.4% (54)	③24.5% (23)	36.7% (44)	32.6% (153)
11. 趣味や習い事などの学習機会が少ない	18.2% (25)	37.8% (45)	14.9% (14)	37.5% (45)	27.4% (129)
12. 老後の時間をもてあましている	1.5% (2)	9.2% (11)	3.2% (3)	5.0% (6)	4.7% (22)
13. 子育てに不便である	10.9% (15)	26.9% (32)	9.6% (9)	21.7% (26)	17.4% (82)
14. 交際にお金がかかる	③33.6% (46)	39.5% (47)	①51.1% (48)	32.5% (39)	④38.3% (180)
15. 人口が減って集落や地域の維持が困難になっている	17.5% (24)	52.9% (63)	3.2% (3)	31.7% (38)	27.2% (128)
16. 働く場所が少ない	①50.4% (69)	⑤61.3% (73)	②36.2% (34)	③59.2% (71)	①52.6% (247)
17. 何も問題を感じていない	16.8% (23)	2.5% (3)	16.0% (15)	4.2% (5)	9.8% (46)
18. その他	5.1% (7)	2.5% (3)	2.1% (2)	5.0% (6)	3.8% (18)
回答者数	137	119	94	120	470

## 2) 国や自治体の施策の要望

国や自治体に望む重点施策について、どのような施策が重要であるか複数回答で答えてもらった。表43に結果を示す。全体で最も多いのは「在宅介護のための、自宅を訪問するサービスの充実 (57.8%)」、2番目に多いのは「資沢で介護をする家族に対する支援の充実 (53.3%)」、3番目は「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設の整備 (51.3%)」、4番目は「病院や診療所などの医療機関の充実 (47.6%)」、5番目は「緊急通報サービスの充実 (43.9%)」であった。在宅介護サービス及び在宅介護支援充実、介護施設の充実、医療サービスの充実、緊急時対応が重点施策の要望として挙がっている。

地域別に見て共通して最も多いのは「在宅介護のための、自宅を訪問するサービスの充実」であった。その他の要望もほぼ類似して上位に挙げられていた。

表43 国や自治体に望む重点施策 (複数回答)

	奄美市	瀬戸内町	石垣市	竹富町	合計
1. 在宅介護のための、自宅を訪問するサービスの充実	①53.7%(73)	①56.6%(64)	①55.7%(54)	①65.8%(75)	①57.8%(266)
2. 在宅介護のための、施設に通って受けるサービスの充実	⑤41.9%(57)	31.0%(35)	⑤45.4%(44)	⑤50.0%(57)	42.0%(193)
3. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設の整備	①53.7%(73)	⑤47.8%(54)	④49.5%(48)	③52.6%(60)	③51.3%(236)
4. 病院や診療所などの医療機関の充実	28.7%(39)	③53.1%(60)	②54.6%(53)	②58.8%(67)	④47.6%(219)
5. 認知症高齢者グループホームの整備	④43.4%(59)	36.3%(41)	29.9%(29)	31.6%(36)	35.9%(165)
6. 高齢者に配慮した住宅整備の推進	39.7%(54)	28.3%(32)	28.9%(28)	30.7%(35)	32.4%(149)
7. 福祉用具の普及	17.6%(24)	19.5%(22)	18.6%(18)	28.1%(32)	20.9%(96)
8. 介護予防リハビリテーションの充実	31.6%(43)	27.4%(31)	24.7%(24)	37.7%(43)	30.7%(141)
9. 配食サービスの充実	39.7%(54)	44.2%(50)	42.3%(41)	38.6%(44)	41.1%(189)
10. 移送サービスの充実	41.2%(56)	35.4%(40)	34.0%(33)	41.2%(47)	38.3%(176)
11. 緊急通報サービスの充実	40.4%(55)	③53.1%(60)	35.1%(34)	46.5%(53)	⑤43.9%(202)
12. 高齢者の生きがいや社会参加の促進	38.2%(52)	28.3%(32)	30.9%(30)	30.7%(35)	32.4%(149)
13. 在宅で介護をする家族に対する支援の充実	③52.9%(72)	②55.8%(63)	③53.6%(52)	④51.8%(59)	②53.3%(246)
14. 介護サービスの質の確保・向上に向けた取組み	30.9%(42)	31.0%(35)	15.5%(15)	39.5%(45)	29.8%(137)
15. 介護サービスを適切に選択することができる環境の整備	40.4%(55)	41.6%(47)	30.9%(30)	36.0%(41)	37.6%(173)
16. 介護問題に関する相談窓口や相談体制の整備	32.4%(44)	36.3%(41)	29.9%(29)	28.9%(33)	32.0%(147)
17. 民間の介護保険の育成・支援	21.3%(29)	23.0%(26)	32.0%(31)	21.9%(25)	24.1%(111)
18. 特にない	3.7%(5)	0.9%(1)	3.1%(3)	0.0%(0)	2.0%(9)
19. わからない	5.1%(7)	8.8%(10)	5.2%(5)	4.4%(5)	5.9%(27)
20. その他	7.4%(10)	3.5%(4)	1.0%(1)	3.5%(4)	4.1%(19)
回答者数	136	113	97	114	460

## 3) 意見・要望 (自由記述)

意見・困りごと・要望等を自由記述で記入してもらい、調査地区ごとに整理した。

### ①奄美市

最も多いのは在宅福祉についての意見 (6件) で、家族介護の支援の充実 (例:「家族で親等を看る時困った時直ぐ対応できる人、施設等があればいい。)」や要援護高齢者支援 (例:「行政はもっと介護、援助を必要としているお年寄りに積極的に手を差し延べてほしい。)」を求めるものがあつた。2番目に多いのは市役所についての意見 (5件) で、職員の態度 (例:「役場職員の態度にイラだつときがあります。数名そのような態度やTELの対応が悪く他の人もそうなのではないかと全体が悪く見える。市民をなめすぎです。知り合いとそうでない人へのサービスが違う。)」や行政への要望などがあつた。3番目に多いのは子育てについての意見 (3件) で「子供が安心して遊べる施設。子供の為の地域づくり。」などがあつた。4番目に多い意見 (各2件) は、福祉施設の整備 (例:「今の時代を生きるには年金の額が少なく、その年金で入れるような施設をもっと作らないといけないと思います。))、低所得者支援 (例:「収入の少ない家庭に、援助してあげるべき!例えば、母子家庭、病気等で働けない。))、防災 (例:「住宅が山間にあり道路が行き止まりになっているので、緊急時には逃げ場がなく、常に不安を抱えている。))、若者の参加 (例:「若い女性の地域横断のネットワークを作してほしいと思います。))、交通の課題などがあつた。その他の意見として介護予防のPRのあり方、介護職員の待遇改

善、異世代交流促進、社会的孤立者支援、成年後見人制度の充実、道路、住居、老後の不安、道路整備などがあった。

#### ②瀬戸内町

最も多いのは役場についての意見（9件）で、役場の姿勢（例：「離島が多い瀬戸内町。奄美では充実が難しいこともあるのは理解できるが、役場の対応や社協等、公的機関からのアプローチが他の地域から見ても活気がなく遅れていると感じる。」）や職員の態度（例：「役場の人々の覇気の無さが残念」）に関するものが多かった。2番目に多いのは在宅福祉に関する意見（7件）で、介護支援（例：「家で年寄り介護。もっと色々な支援が欲しい。お金が年金が少なかったらとても介護は出来ない。もっと支援が欲しい。そしたら家で看れるかもしれない。」）や配食の要望（例：「配食サービス1人暮にはありがたい。地域で出来たら良いと思います。」）などがあった。3番目に多いのは海上交通についての意見（5件）で、交通費（例：「与路島から加計呂麻島までの移動手段が海上タクシーのみで片道6,000円必要である。もっと安く移動出来ないものだろうか。」）や航路の拡充の要望などがあった。4番目に多いのは道路と防災についての意見（各4件）で、道路の整備や復旧（例：「台風などの土砂災害に対する早急な復旧工事をお願いしたい（特に道路整備）。」、停電対策や緊急時対応などがあった。5番目に多いのは福祉施設についての意見（3件）で、福祉施設の整備や低料金要望（例：「国民年金で入所できる老人ホームが出来、順番を待たないで入所出来る様にして欲しいです」）などがあった。6番目に多い意見（各2件）は介護保険と若者の仕事などなどであった。介護保険については「介護保険は高いのに認知症にかかっても介護サービスが受けられないのはどうしてかしら？何の為に介護保険を払っているかわからない事」という意見もあった。

その他の意見として、孤独死対策、認知症対策、医師常駐の要望、ゴミ捨てるのマナー、生活格差、老後の不安、イノシシ対策要望などがあった。

#### ③石垣市

最も多いのは市役所についての意見（4件）で、市役所職員の態度に関するもの（例：「市役所の窓口職員で的確に相談に対応できる方が少ない。非正規職員が多すぎる。プロフェッショナルを育てて欲しい。」）があった。2番目に多いのは在宅福祉と福祉施設についての意見（各3件）で、在宅福祉については家族介護の支援の要望（例：父親の介護者「まず現実で感じたのが、介護者への交通費等、何かしらの支援があれば助かるのに…とガソリンを入れるたびに思っていました。介護される本人もですが、介護する嫁や娘もかなり負担を感じていると思います。身体的な面以外でも金銭的な面でも…。私の様に通って実家の親の世話をしている方が沢山いらっしゃると思います。せめて交通費だけでもあれば助かると思います…。」、福祉施設については入所の整備要望（例：「老老介護の方（親の兄弟）がいますが施設に入れなくて困っています。」）があった。3番目に多いのは子育てについての意見（2件）で、子どもの遊び場確保の要望と高齢者との共生の悩み（例：「今の地域は高齢者が多いため子育てで悩む事があります。子供に静かにするように言うけれど、なかなか静かにできません。下の人がうるさいとドンドン床を棒のような物で突いてきます。1才の子供がハイハイしてもしてきて、少し悩んでいます。」）があった。

その他の意見として、老後の不安、福祉の相談窓口の整備の要望、コミュニティバスの要望、道路の整備の要望があった。

#### ④竹富町

最も多いのは役場についての意見（16件）で、役場の対応や職員の態度（例：「もっとガラス張りの行政であって欲しい。役場の職員の志気の低さ、役場の人間はもっと外の世界を見て、行政に反映させるべきである。」）、役場の場所（例：「役場は石垣市にあります。だからなのか？役場職員は竹富町民の為のサービスを考えていると思えません。」）、についての指摘があった。2番目に多いのは交通についての意見（7件）で、交通費（例：「美容院、買い物に行くのに船、タクシー等の移動となる為、経済的負担が大きい。」）と交通の便（例：「近所のお年寄り一人暮らしの方が、診療所へ行く手段がなく、私がいる時は送迎しているが、離島の交通の便が良くないこともあり、。」）についての意見があった。3番目に多いのは医療についての意見（5件）で、医療の

充実要望やワンクッション・コールの問題指摘などがあつた。4番目に多いのは福祉サービスについての意見(4件)で、福祉サービスの整備要望(例:「きめ細かなサービスの常態化と要員の配置。集落内のネットの充実と連携体制の確立(他福祉団体。)」)があつた。その他の福祉に関する意見では「離島である為、介護サービスが充実していない。よつて、介護保険料を支払つても利用できるサービスがない!!」「介護資格を取るための補助制度があつたらいいなと思う。」などの意見もあつた。

5番目に多いのは仕事、Iターン者、駐在所、学習機会についての意見(各2件)であつた。仕事については生産性のある仕事の確保の要望があつた。Iターン者については既存住民からは地域のまとまりの乱れ、Iターン者からは地域へは入りにくい、という意見があつた。駐在所の設置は安全確保のために必要という意見、学習機会については講座や教室の整備要望があつた。

その他の意見として、将来への不安、経済状況、若者のボランティア精神推進要望などがあつた。

以上、4つの地域について自由記述の意見や要望を見てきたが、役場が本島側にある瀬戸内町と主島側の他市にある竹富町の離島部では行政の対応や職員の姿勢に対する意見が多く、「島民の諦め、行政の切り捨て」という不満が根強かつた。また、医療・福祉や交通についての要望も多く、介護保険については「介護保険があつて介護サービスがない」という不満も根強かつた。これらは離島の辺境性が強くなるほど大きくなる課題であるといえよう。

## 14. まとめ

### 1) 将来の親に対する不安

「とても不安を感じる」「多少不安を感じる」の合計が、都市部(奄美市75.1%、石垣市77.0%)よりも集落部(瀬戸内町86.0%、竹富町92.0%)において高くなつている。

### 2) 集落行事への参加

「参加している」割合が、集落部(瀬戸内町94.8%、竹富町88.6%)よりも都市部(奄美市29.5%、石垣市43.7%)において圧倒的に低くなつている。結いのシマといわれる奄美諸島や八重山諸島において、都市部では関係性が希薄になりつつあることを示している。

### 3) 食生活

「冷凍食品が多い」という回答に関しては、気象状況に左右される交通事情や地理的な事情などから生鮮食料品の入手が比較的難しい島嶼集落部に高い傾向がみられた。「塩辛いものが多い」という回答に関しては、奄美諸島のほうが八重山諸島に比べ高かつた。

### 4) 飲酒・喫煙

飲酒に関しては、「毎日飲む」と答えた人は、都市部より、集落部において高かつた。喫煙に関しても、「吸う」と答えた人は、都市部より、集落部において高かつた。「生活習慣病に関する催しへの参加」では、「参加したことが無い」と回答した人は、都市部の方が高かつた。

### 5) 自分に対して望む介護形態

親に対して望む介護形態と自分に対する望みでは、要支援・要介護1~2の場合、4地域とも自分に対しては「介護施設入所」の比率が高くなつている。竹富町で1.8倍、奄美市で1.9倍、石垣市で2.0倍だが、瀬戸内町では3.2倍の高率である。

### 6) 地域の問題

地域で感じている問題点については、奄美市と瀬戸内町では「ハブ」の問題、離島部である瀬戸内町と竹富町では日常の買い物の不便があがつていた。総じて、離島部における地域問題の指摘が多かつた。

### 7) 国や自治体に望む施策の要望

国や自治体に望む重点施策について、4地区とも「在宅介護のための、自宅を訪問するサービスの充実」を第1位に上げていた。

本研究で、奄美諸島と八重山諸島間の差異や、島嶼集落部と島嶼都市部の差異が明らかになった。とくに年齢構成において、「20～39歳」の子育て世代が瀬戸内町で1番低くなっていた。これは、世帯状況にも同様の影響を与えており、「一人暮らし」「夫婦のみ」の世代の合計は、瀬戸内町において62.5%と最も高く、次いで、竹富町の48.3%、都市部の奄美市で30.5%、石垣市で16.4%と、一番低くなっている。

また、居住者の出身地別では、群島内若しくは県内の割合が島嶼都市部（奄美市92.2%、石垣市91.8%）において高く、島嶼集落部（瀬戸内町86.7%、竹富町67.5%）において低くなっているが、これはIターン者が多いことを意味している。県外からの定住者を増やすことで人口増につながり集落維持・発展を可能にすることにつながるが、既存住民からは伝統行事の継承という点でまとまりを欠くことがあり、Iターン者からは地域へ溶け込むにはハードルがあるという意見があるなど、将来の課題が見えてきた。地域リハビリテーションの推進のため、これらの地域的問題を着実に解決していくことで、地域再生への足掛かりとすることが可能になるのである。

#### 注

- 1) 本研究は、平成23年度～25年度科学研究費補助金（基盤研究B）による「琉球弧における地域文化の再考と地域再生プランおよび実践モデル化に関する研究（研究代表者：鹿児島国際大学大学院教授田畑洋一）」の成果の一部である。調査に際して、調査実施に協力いただいた4地域の民生委員児童委員のみなさんはじめ、地域住民の皆さんに感謝申し上げます。
- 2) 沖縄大学人文学部福祉文化学科准教授

#### 文献

- 田中安平・小窪輝吉・岩崎房子・田畑洋一・高山忠雄・玉木千賀子（2013）「奄美諸島と八重山諸島における地域住民の生活と福祉ニーズ—奄美諸島と八重山諸島における一般成人調査より紐解く—（1）」『鹿児島国際大学福祉社会学部論集』第32巻第4号57-71

# Life Styles and Social Welfare Needs of the People on the Amami Islands and the Yaeyama Islands :

Analyzing a Research of Adults on the Amami Islands and the Yaeyama Islands (2)

Yasuhira TANAKA, Teruyoshi KOKUBO, Fusako IWASAKI,  
Yoichi TABATA, Tadao TAKAYAMA, Chikako TAMAKI

The purpose of this study was to analyze the life styles and the social welfare needs of the adults who live on the Amami islands and the Yaeyama islands. The regions surveyed were the urban areas of Amami City and Ishigaki City, and the rural areas of the Kakeroma island, Uke island, Yoro island (Setouchi Town) and the rural areas of Iriomote island and Hatoma island (Taketomi Town). Both islands have kept the spirit of mutual helping and the traditional cultures. But it is clear that the conditions of the rural areas in Kagoshima Prefecture and Okinawa Prefecture are different.

In this paper we report analyses of the eating habits, the evaluation of health-care services, welfare services, and other regional subjects.

The number of the respondents who drink every day was larger in the rural areas of the island than in the urban areas. The number of people who participate in the events concerning life-style related diseases was larger in the urban areas. Regional issues in the Amami City and in the Setouchi Town were "habu", inconvenience of daily shopping in Setouchi Town and Taketomi Town, which are in the rural areas of the island. In general, there were many regional issues in the rural areas of the island. The four areas want the national and local governments to "improve the visiting service for home care" in the first place.

**Key Words** : Community rehabilitation, Traditional culture, Remote islands, Regional issues